



市長定例会見

- 1 令和7年9月市議会定例会の補正予算について
- 2 事業承継体験プログラム pre relay（プレリレイ）の実施について
- 3 「仕事と子育ての両立」啓発事業
「親子でいっしょに！鈴木翼さん あそび歌コンサート」の開催について

令和7年9月3日（水曜日）

令和7年9月定例会 補正予算

一般会計と2つの特別会計で 5億 4,950万 9千円を増額

①一般会計

+ 4億 556万円

②港湾事業特別会計

+ 2,117万 2千円

※事業費の増、前年度の決算剰余金

③介護保険特別会計

+ 1億 2,277万 7千円

※国県支出金の精算返還金

一般会計 4億 556万円の内訳（主なもの）

1. 国・県支出金の増に伴うもの

〔+750万円〕

(1) 常備消防施設等整備事業費（耐震性防火貯水槽整備事業）	補正額	750万円
--------------------------------	-----	-------

2. 事業費の増に伴うもの

〔+3億 1,376万円〕

(1) 統計調査事業費	補正額	78万円
★(2) 学校、保育所等給食費高騰対応事業	補正額	5,887万円
(3) 施設維持管理費（清掃工場）	補正額	1億 4,000万円
(4) 道路維持管理費	補正額	8,000万円
(5) 河川維持管理費	補正額	3,000万円
(6) 消防団活動事業費（消防団員公務災害防止活動援助事業）	補正額	91万円
(7) 常備消防施設等整備事業費（耐震性防火貯水槽整備事業）	補正額	320万円

3. 災害復旧に伴うもの

〔+ 8,430万円〕

★(1) 災害復旧事業費（農林施設）	補正額	1,220万円
★(2) 災害復旧事業費（土木施設）	補正額	7,210万円

一般会計 4億 556万円の財源内訳

特定財源

+ 2億 1,025万 7千円

国庫支出金	+	3,281万 3千円
県支出金	+	553万円
市債	+	5,090万円
分担金・負担金	+	1,723万 4千円
繰入金	+	1億円
諸収入	+	378万円

一般財源

+ 1億 9,530万 3千円

繰入金	+	5,733万 6千円
繰越金	+	1億 3,796万 7千円

食材費の上昇相当額の公費負担を行い、保護者の経済的負担を軽減します。

○1食当たりの給食費

区分	学校給食			保育所等給食
	小学校	中学校	幼稚園等	保育所等
保護者負担額	240円	270円	200円～260円	160円～260円
公費負担額（当初予算分）	30円	30円	20円 ～ 30円	20円 ～ 30円
公費負担額（今回補正分）	30円	30円	30円 ～ 40円	30円
計	300円	330円	260円～320円	210円～320円

○補正予算額

学校給食費（市立）	保育所等給食費（市立）	保育所等給食費（私立）	計
3,806万 2千円	686万 9千円	1,393万 9千円	5,887万円

災害復旧事業

<担当課：農林整備課、土木管理課>

8月7日から11日までの豪雨により被災した箇所を復旧します。

被災年月及び被災状況など

区分	被災状況	
	農地・農林業用施設	公共土木施設
補助災害	農地 2件	道路 1件、河川 1件
単独災害	なし	道路 53件、河川 24件
補正額	1,220万円	7,210万円

農地災害
(久井町吉田)



道路災害
(沼田西町惣定)



河川災害
(本郷町南方)



事業承継体験プログラム pre relay(プレリレイ) 三原市事業承継マッチング事業の成果

自治体がサポートする事業承継プログラム
relay^{the}local × 三原市

後継者募集 地域の特徴 プログラム詳細 お知らせ



まずは話を聞いてみる

「広島県三原市」で
事業を引き継いでみませんか？

▲事業承継マッチングページ
relay the local 三原市



成約第1号 CAFE もみの木(港町)



▲CAFE もみの木 の新オーナー(左)と旧オーナー(右)

一方で、
「後継者募集はまだ早い」
「いきなり譲るのは不安」
といった声も…

事業承継体験プログラム pre relay(プレリレイ) “お試し体験”で事業承継のハードルを下げる

課題

事業承継マッチングが実現しにくい現状

解決策

まず、「お試し体験」でハードルを下げる



pre relay
プレリレイ

事業承継体験プログラム pre relay

地域の事業者と起業・移住の関心層を引き合わせ、事業承継を「お試し体験」できるプログラム

株式会社ライトライト

プログラムの設計と運営
マッチングの調整と支援

三原市

支援機関との連携
事業者や体験申込者を支援

三原市以外の実証地自治体

- ・ 広島中央地域連携中枢都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町)
- ・ 宮崎県宮崎市

内閣府 令和7年度「関係人口創出・拡大のための対流促進事業」に採択された実証事業

事業承継体験プログラム pre relay(プレリレイ) 体験プログラムの概要と特徴



地域の事業者

「自分の代でやめるか、誰かに継いでもらうか迷っている。」
「相性や人柄を見てから考えたい」

登録掲載や報酬等の費用負担無し
※今年度は無料

登録



応募



事業承継に関心のある人

「地方での起業や移住に興味がある。まずは体験してみたい」

交通費や滞在費を自己負担

必ず事業承継することが前提でなくてもOK
体験期間は、最短1日から1週間程度

事業承継体験プログラム pre relay(プレリレイ) 体験プログラムで期待される効果

■ 地域への影響と期待される効果



地域へのメリット

- ・廃業を考えていた事業者が、**地域外の後継者候補と出会うことで、事業承継に前向きになる可能性**
- ・体験者が関係人口となり地域に関与する人が増える
- ・「第三者に継ぐ」という**意識変容のきっかけ**になる



関係人口へのメリット

- ・地域に入り込むことで、**常連客との会話や地域コミュニティの雰囲気**をリアルに体験できる
- ・移住や起業（事業承継）に向けて小さな一歩を踏み出すきっかけになる

■ スケジュール

8月	・支援機関向け説明会の開催(8/22) ・事業者への周知(DMアンケート等)
9月	・pre relay WEBサイト開設 ・参加者募集、体験受入開始
10月 ～2月	・受け入れ事業者の募集、掲載(随時) ・事業承継体験の実施(随時) ・実証事業の効果検証(2月)

株式会社ライトライト 会社概要

- ・事業内容 オープンネーム事業承継 relay(リレイ)の運営
- ・設立 令和2年(2020)年1月6日
- ・代表 代表取締役 斎藤 隆太
- ・資本金 50,000,000円
- ・本社 宮崎県宮崎市橘通東4-7-28 TOKIWA30ビル 2階

「仕事と子育ての両立」啓発事業 事業の目的とねらい

子育て世代をメインターゲットとし、男性の育児への主体的な参画等を促進するため、親子で楽しみながら、男性が家事や育児に関わる重要性などを学ぶセミナーを兼ねた遊び歌コンサートを実施します。

事業目的

「三原市こども計画」や、「私らしく暮らせるみはらプラン」に記載のある、男性の家事・育児等への主体的な参画を促進するための「仕事と子育ての両立」啓発事業。

「みはらこども・子育て応援宣言」イベントとして実施。

事業実施のきっかけ

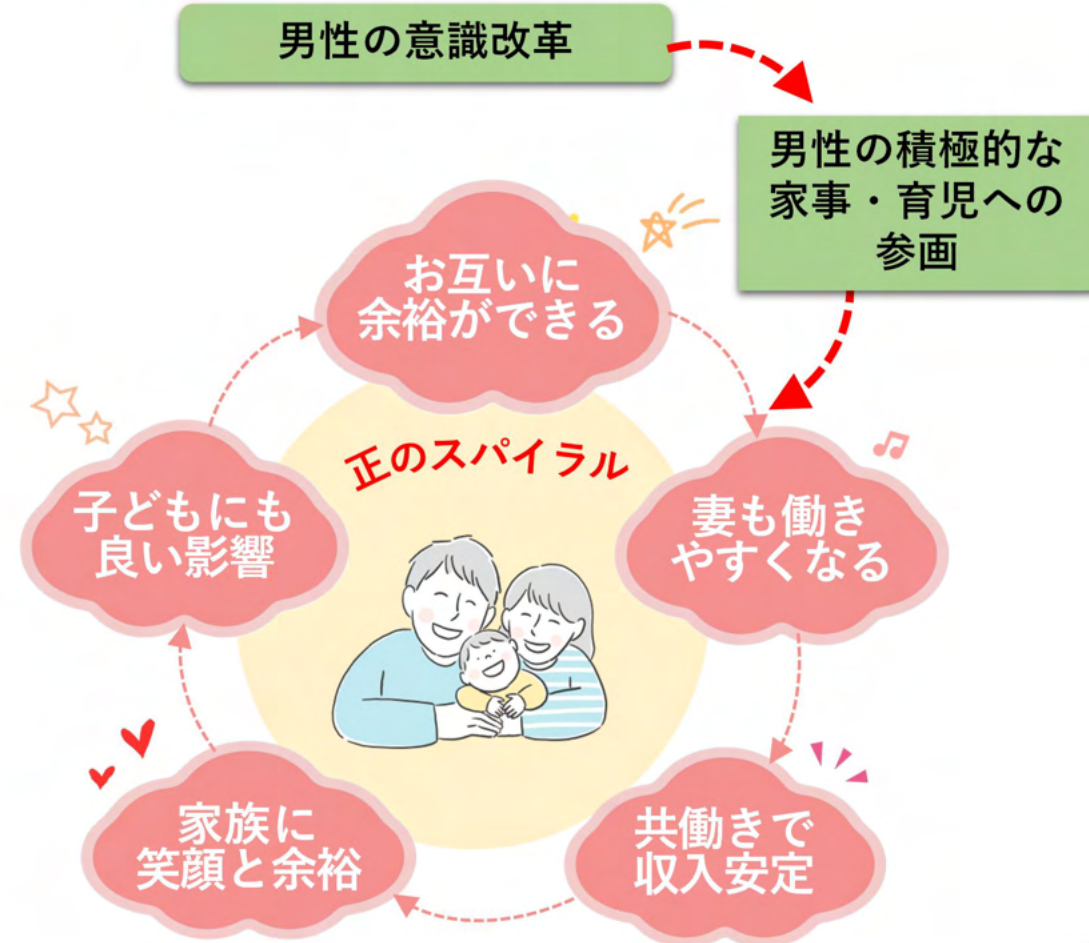
R5実施「女性活躍推進に関する意識調査」

- ・女性が家事や育児を男性よりも多く負担する傾向
- ・この負担が女性のキャリア形成を妨げる要因
- ・女性の社会参加にも影響

かみずる

県立広島大学 上水流教授の提言

男性の育児・家事参画のために男性を対象としたプログラムの実施



「仕事と子育ての両立」啓発事業 イベントの概要

イベント名

すずき つばさ

親子でいっしょに！鈴木 翼さん あそび歌コンサート

内 容

- ・あそびを通して子どもとのコミュニケーションの取り方や、男性が育児に関わる重要性などを学ぶ育児セミナー
- ・0歳から参加できる、あそびと歌が一つになった「あそび歌」のコンサート

概 要

- | | | | | |
|------|--|-----|-------------|-----|
| 1 日時 | 令和7年 9月28日 日 | 1回目 | 13:00～14:00 | 60名 |
| | | 2回目 | 14:30～15:30 | 60名 |
| 2 会場 | 三原市児童館「ラフラフ」スポーツ室（城町一丁目） | | | |
| 3 対象 | 市内在住の親子、子育てに携わる人
（主に3歳～6歳程度が対象） | | | |
| 4 申込 | 専用フォームもしくは電話で人権推進課まで
9月1日(月)受付開始、先着順・入場無料 | | | |



「仕事と子育ての両立」啓発事業 講師プロフィールと事業のポイント

講師プロフィール

あそび歌作家 鈴木 翼(すずき つばさ)さん

保育士として私立保育園、子育て支援センター勤務を経て、平成21年から「あそび歌作家」として活動を開始。

CDの制作、絵本の創作、保育雑誌への執筆を行うほか、新感覚のあそび歌やダンスを中心に、全国各地で行う親子コンサート、保育園・幼稚園コンサート、保育者向け講習会は、年間140公演を超える。

Youtubeでの活動のほか、平成25年4月からNHK BSプレミアム「おとうさんといっしょ」の遊びや歌の提供など、活動も広がっている。

ここがポイント！

- ・児童館ラフラフで活躍するパパスタッフが参加
- ・ラフラフで事業を実施することで、「パパコミュニティ」の広がりを生み出す



あそび歌作家 鈴木 翼さん